

令和5年度 山県市各種がん検診のご案内

※対象及びクーポンの年齢は令和5年4月1日現在の年齢です。
 ※がん検診の無料クーポン券は別途郵送します。届いたら必ずご確認ください。

がん検診には疾患の早期発見ができるメリットだけではなく、デメリットもあります。検診を受けるときにはメリット・デメリットを知った上で受診しましょう。
 【メリット】 早期発見・早期治療につながり、がんによる死亡率が低下する。(継続的な受診が早期発見のカギになります)
 【デメリット】 かならずがんを見つけれられるわけではない(偽陰性)。がんがなくても結果が「陽性」となる場合もある(偽陽性)。
 ※精密検査となった場合は必ず精密検査を受けましょう。その結果は医療機関を通して市町村に報告されています。

検診種類	対象年齢	適正な受診間隔	受診方法 ※⑦は要予約です	受診期間及び場所	自己負担金	無料クーポン券対象者	検診内容	検診結果	精密検査の方法	持ち物	注意事項
胃がん検診 ※死亡数第3位(2021)	レントゲン撮影(バリウム) 内視鏡検査(カメラ)	40歳~84歳	⑦ 集団検診	6月~10月	1,000円	40歳 45歳 50歳 54歳 55歳 58歳 62歳	検診車の中でバリウムを飲んで胃のレントゲンを撮る。	郵送	胃内視鏡検査により行う。	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳(集団検診のみ)	・検診に望ましい服装は、無地のTシャツです。(色は何色でも可) 【検診前日】 ・夕食は夜9時までに済ませ、お酒・タバコは控えてください。 ・のどが渴いたら、コップ1杯程度の水やお湯は飲んでいただいてもかまいません。 【検診当日】 ・朝も飲食はしないでください。朝の目覚めの時、コップ1杯程度の水やお湯は飲んでいただいてもかまいません。 ・タバコは検診終了後まで控えてください。 ・検診会場ですべて喉が渇くような場合はスタッフにご相談ください。 ・心臓や血圧のお薬を服用している人は、朝7時まで飲んでください。 ・当日朝の糖尿病薬は飲まず、インスリン注射は打たずにお越しください。検診後、主治医の指示に従い薬を使用してください。 注意: 検診をお勧めできない場合 <バリウム・胃カメラ共通> ・胃疾患で治療中の人、胃全摘術後の人 ・呼吸不全、心臓病(急性心筋梗塞・不整脈)のある人 ・妊娠中または妊娠していると思われる人 ・血圧が極めて高めの人 <バリウム検査> ・酸素吸入治療をしている人 ・過去の検診でバリウムを飲んでむせ、誤嚥(誤って気管へ入ること)したことがある人 ・脳血管障害などで嚥下障害(飲み込めない)がある人 ・検査のための寝返りなど体位交換が自分でできない人 ・手足に麻痺がある人 ・心不全や人工透析などで水分制限がある人 ・頑固な便秘の人 <胃カメラ検査> ・出血傾向のある人 ・のどや鼻に重篤な疾患があり、胃カメラが通らない人
		40歳~84歳	⑦ 集団検診	6月~10月	2,000円		鼻から胃カメラを入れて胃の状態をみる。	郵送			
		※受診を特に推奨する人 50歳~69歳	⑦ 医療機関検診	6月~翌1月	口又は鼻から胃カメラを入れて胃の状態をみる。		手渡し又は郵送				
大腸がん検診 ※死亡数第2位(2021)	40歳~84歳	1年に1回	⑦ 集団検診	6月~10月	500円	40歳 45歳 50歳 55歳	自宅で便を2日分採って提出し、便に血液が混じっていないか検査をする。	容器は市より郵送	郵送	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳(集団検診のみ)	・生理中の便は避けてください。 ・胃バリウム検査を受けられた場合は、便の状態が通常に戻ってから採便してください。
			医療機関検診 ※岐阜北厚生病院は予約が必要です	6月~翌1月			容器は医療機関へ取りに行く	手渡し又は郵送	・専用の採便容器を郵送しております。まだお申し込みされていない人は健康介護課へお電話にてご連絡ください。 ・ 検診日前1週間以内の便 を採り、採った容器は涼しい所で保管してください。 ・専用の採便容器は、事前に検診を受けたい医療機関で受け取ってください。(医療機関によって容器が異なります) ・便を採った容器の提出日・提出時間・注意事項は、検診医療機関で確認してください。		
結核・肺がん検診 ※死亡数第1位(2021)	40歳以上	1年に1回	⑦ 集団検診	6月~10月	40~64歳 500円 65歳以上 無料	40歳 45歳 50歳 55歳	検診車の中で胸部のレントゲンを撮る。	郵送	CT検査や気管支鏡検査により行う。	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳(集団検診のみ)	・市の結核・肺がん検診は、集団検診(検診車)のみです。医療機関での検診はありません。 ・レントゲン撮影に望ましい服装は、無地のTシャツです。(色は何色でも可) ・妊娠中またはその可能性のある人は、検診を行うことはできません。 ・スタッフが安全に検診を実施することが難しいと判断した場合(数分間1人で立っていることが困難である等)は受診をお断りすることがあります。 <喀痰検査> 喫煙など肺がんの危険度が高い場合、レントゲン撮影にあわせて痰の検査も実施できます。 ・個人負担金600円(うち容器代200円、検査未実施でも容器代の返金はできません) ・希望する場合は検診の問診時にお申し出ください。喀痰検査のみの実施はできません。
乳がん検診 ※死亡数女性第4位(2021)	30歳~84歳	2年に1回	⑦ 集団検診	6月~10月	1,500円	40歳 45歳 50歳 55歳	乳房のレントゲン撮影・超音波検査を行う。	郵送	マンモグラフィの追加撮影や超音波検査、穿刺吸引細胞診や針生検等を行う。	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳(集団検診のみ) ④衣服を入れる袋	・検診に必要なケープは会場で貸し出します。 <検診をお断りする人> ・妊娠中またはその可能性のある人 ・豊胸手術をしている人 ・医療機器が前胸部に入っている人(ペースメーカー、V-Pシャント、CVポート埋め込みなど) ・授乳中の人(精度管理の観点からお勧めしていません) ・乳房再建術をしている人
⑦ 医療機関検診	6月~翌2月										
子宮頸がん検診 ※り患率が近年増加傾向	20歳~84歳	2年に1回	⑦ 集団検診	6月~10月	1,500円	20歳 40歳 45歳 50歳 55歳	内診と子宮頸部の細胞診(綿棒のようなものでこすって採取する)を行う。	郵送	①受診票(名前シールを貼り、事前に問診を記入) ②個人負担金 ③健康管理手帳(集団検診のみ)	・生理中の人は検診はできません。(細胞診の判定に影響するため) ・性交渉の経験のない人は、検診を実施できない場合があります。(検査時に出血や苦痛を伴う場合があります。そのため、集団検診ではなく医療機関での検診をお勧めします。ただし、性交渉の経験のない人は子宮頸がん検診のり患リスクが極めて低いと言われていたことから、医療機関によっては検診の必要性はないと判断する場合がありますので、ご了承ください。)	
医療機関検診 ※予約が必要な医療機関もあります	6月~翌1月	手渡し又は郵送	【集団検診】 ・検診受診の際は、スカートでお越しください。 ※20歳のみ封筒にクーポン券を同封しています。								